

JR東労組青年部「第33回定期委員会」

若き力で「組織強化・拡大」に全力を傾注する！

8月28日、JA共済埼玉ビルにおいて第33回定期委員会を200名の結集で開催しました。

18春闘の「大敗北」を受け止め、主体的総括を！

▼本部や地本の言うとおりにやれば間違いないと思っていた。それが結果として組合員の本音の意見を置き去りにし、大量脱退へ繋がってしまった(秋田)

▼18春闘で青年部員から出された否定的な意見に対してきちんと耳を傾けず、一方的に価値観を押し付けた運動を展開してしまっただけ(大敗北)であり、謝罪しなければ失った信頼を取り戻すことができない。

▼18春闘は「大敗北」と本部は総括しているが、各機関が行ってきた実践は全て否定されるものではない。内容面の総括を行い「大敗北」を乗り越えて19春闘に向けてたたく準備をしっかりとしない(八王)

▼現場長から脱退の圧力をかけられたことに抗議したが「その事実はない」と言われた。しかし本人が立ち上がったことで、現場長は謝罪し圧力をかけられることはなくなった(秋田)

▼三者機関から申立てを取り下げたが、東京として不当労働行為を許すことはできない。不当労働行為撲滅の運動と並行して三者機関を活用し、社会的問題に押し上げ発信・連帯していく(東京)

▼「大敗北」という総括に踏まえつつ内容的に総括を深め、次なるたたかいに繋げる(水戸)

▼18春闘では脱退が相次ぎ、誰を信じればいいのか分からなくなった。自分自身も脱退するつもりだったが、関わってくれた仲間や先輩がいて踏みとどまった。18春闘の「大敗北」は、これだけ多くの組合員が脱退したことが何よりの根拠である(仙石)

▼18春闘の総括が未だに一致しない現実がある。誰のため、何のためにJR東労組運動を担っているのか。ウソ、誤魔化しを許さず、新たなJR東労組青年部を創り上げていく(盛岡)

▼青年部員と共に職場からのたたかいで、不当労働行為に抗していく！

▼現場長から脱退の圧力をかけられたことに抗議したが「その事実はない」と言われた。しかし本人が立ち上がったことで、現場長は謝罪し圧力をかけられることはなくなった(秋田)

▼三者機関から申立てを取り下げたが、東京として不当労働行為を許すことはできない。不当労働行為撲滅の運動と並行して三者機関を活用し、社会的問題に押し上げ発信・連帯していく(東京)

▼「大敗北」という総括に踏まえつつ内容的に総括を深め、次なるたたかいに繋げる(水戸)

▼18春闘では脱退が相次ぎ、誰を信じればいいのか分からなくなった。自分自身も脱退するつもりだったが、関わってくれた仲間や先輩がいて踏みとどまった。18春闘の「大敗北」は、これだけ多くの組合員が脱退したことが何よりの根拠である(仙石)



【議長団】写真左から長内委員(盛岡)、森田委員(横浜)、滑川委員(千葉)

青年部らしく、思い、感じたことをありのまま発信できるフレッシュな感性を養い、未来を展望し、新生JR東労組を一人ひとりの力で創り上げよう！



【退任された三役】
伊藤前副部長 後藤前副部長
世良前副部長
大変お疲れ様でした！

【2018年度 三役体制】	※敬称略
青年部長 福田 潤一	藤保線技術センター
副部長 小金 澗	盛岡運輸区(新)
副部長 武田 太希	八戸運輸区(新)
事務長 藤澤 将次	さいたま車掌区(新)

職場から安全と健康が担保できる JR東日本を創造しよう！

9月になり各地本でも政策フォーラムが開催され、11月には本部も政策フォーラムを開催します。

政策フォーラムは1988年8月8日「力あわせ夢語る8・8大集会」としてソニックシティで開催されたのが始まりです。

国鉄改革を経て1987年にJRが発足し、JR東日本を一流企業とすることを労使の目標としました。そのためにはそこで働く社員・組合員の安全・健康・ゆとり・働きたいが担保されていないなければなりません。職場の声を基礎に労働組合としての「政策」(会社を良くしていくプラン)を打ち出し、明るい未来を語り合う場として開催されました。そして、現在も「安全・健康」を根底に据えて、職場の声を基礎にした「政策」づくりをおこない、実現に向けて継続した運動を展開しています。

「力あわせ夢語る8・8大集会」で当時の松崎委員長が「労働組合が対立的な枠組みで反対のための闘いをやるのではなく、創造のための、未来のための具体化の夢を持った闘いを新たに展開していく時期にきたと思います」と講演で力強く語っています。

「変革2027」が発表された今だからこそ、未来のための具体化の夢を持った闘いを展開しなければなりません。

そして、「力あわせ夢語る8・8大集会」開催当時から、職場を大事にし、職場から会社全体を見て、会社に対しても明るく明らかに、堂々と物が言える現場でなければならぬ考え方は、現在も変わりません。今年の政策フォーラムにおいて出された提言についても会社に提起し、職場のみならず共に実現に向けた労使議論をつくり出していきます。

「職場からの挑戦」で、私たちの未来をこれから創造していく！

2018政策フォーラム
 日時：11月11日(日)13:00~12日(月)15:30
 場所：湯本富士屋ホテル 準備地本：横浜地本